

コミュニティ強化アプローチ (CRA)

依存症に対する行動療法

2016年1月19日・20日・21日 @台東館 2階会議室A (東京)

Dr. Hendrik G. Roozen 教授 (オランダ)

コミュニティ強化アプローチ (CRA) は、物質使用障害治療のための広範囲で多角的な行動療法的な一連の手続きです。

また、CRAはオペラント条件付けをベースにしていますが、このオペラント条件付けの考え方は30年以上にわたって発展しつづけており、現在でも多様な (依存) 物質、それぞれの通院状況や施設の違い、様々な患者グループの枠を超えて、また、各種の薬物治療との組み合わせにおいて最も力強く治療を下支えすると評価されているものの一つです。

Roozen教授は20年以上にわたってCRAを活用・研究してきましたが、今回は先生の二度目の訪日、かつ日本での初めてのワークショップになります。

この三日間のワークショップは、CRAを学ぶためのまたとない機会です。

参加可能枠は、25名以下と厳密に決められていますので、ご参加希望の方はお早めにお申し込み下さい。

URL: www.communityreinforcement.com

ご質問: crawsjp@gmail.com (日本語・英語可)

1 日目

9:15 - 9:30

受付

9:30 - 10:45

CRAの歴史と有効性

- CRA研究の概観
- 依存症に関する神経生物学
- (ポジティブな) 強化の役割
- 環境的不確実性への適用

10:30 - 10:45

休憩

10:45 - 12:30

CRAの歴史と有効性 (続き)

- CRA研究の概観
- 過去及び現在における具体的な研究の説明
- 根拠に基づく (Evidence based) 介入
- 現在使用しているプログラムにこの情報を適用する方法

12:30 - 13:30

昼食

13:30 - 14:30

CRAのクライアントへの導入 – CRA幸福尺度

- CRA : その導入と、介入を成功させるための関係づくり
 - ・ 治療中に起きうること
 - ・ 強化因の見つけ方
 - ・ ラポールと信頼関係の築き方
 - ・ ポジティブな期待を抱かせる
- ポジティブな強化因を活用することについてのクライアントとの同意
- 経歴と物質使用情報の入手
- クライアントが問題領域を同定するのを手助けするための幸福尺度の活用

14:30 - 14:45

休憩

14:45 - 16:00

CRA治療のゴール

- 個人治療計画の進展を支援するための幸福尺度の活用
- 適切なゴールの見極め方
- ゴール達成における潜在的な問題点
- エクササイズ

16:00 - 16:15

質疑応答 - ディスカッション

2日目

9:15 - 9:30

受付

9:30 - 10:30

機能分析

- 物質使用行動に関する機能分析の実施方法
- 薬物使用の先行条件の特定
- 薬物使用による結果の特定
- 機能分析についての要点の伝え方と、その情報の活用方法

10:30 - 10:45

休憩

10:45 - 11:15

親社会的行動に関する機能分析

11:15 - 11:30

薬物を拒否するスキル

- 新しいスキルの教育
- アサーティブトレーニング

11:30 - 12:30

コミュニケーションスキル

- クライアントが望むものを得る方法

12:30 - 13:30

昼食

13:30 - 14:00

問題解決

- 問題の特定
- 代替案の探索
- 解決法の決定
- 結果の評価

14:00 - 14:30

社会的・レクリエーションカウンセリング

- 親社会的行動
- 強化因の探索
- どのように、どこで、誰といつレクリエーションを行うか

14:30 - 14:45

休憩

14:45 - 16:00

社会的・レクリエーションカウンセリング (続き)

- 親社会的行動
- 強化因の探索
- どのように、どこで、誰といつレクリエーションを行うか

16:00 - 16:15

質疑応答 - ディスカッション

3日目

9:15 - 9:30	受付
9:30 - 10:00	再発予防（リラプス・プリベンション）
10:00 - 10:30	しらふであることへの試み(Sobriety Sampling) / 治療 <ul style="list-style-type: none">- しらふ概念の紹介- 時間を限定したしらふ計画- しらふである時間をクライアントが受け入れることへの動機付け- ジスルフィラム、ナルトレキソン、アカンプロセートのような薬物と、この試みとの併用
10:30 - 10:45	休憩
10:45 - 11:30	関係性セラピー <ul style="list-style-type: none">- 関係性幸福尺度- 関係性治療計画- 良い関係であるためのヒント
11:30 - 12:30	クライアントに治療遵守不良が起こる場合、どのようにそれを解消するか
12:30 - 13:30	昼食
13:30 - 14:30	入院施設におけるCRA (例：ネガティブな結果・自然な結果)
14:30 - 14:45	休憩
14:45 - 15:30	通常の治療法にCRAを組み入れる
15:30 - 16:15	認定プログラムに関する情報・質問・ディスカッション・まとめ